

令和2年度使用 小学校国語科（書写）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜書写にかかわる基礎的・基本的な技能について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1・2年生では、「しょしゃたいそう」から「かくしせい」へと1連の動作で考えられている。動画があり、歌付きである。 ○ 書く姿勢の合言葉は「ぴん・べた・とん」3つで簡潔である。 ○ 左利きの児童に対応し、鉛筆の持ち方、毛筆学習の準備の仕方が写真で示されている。 <p>＜主体的な学びを支える資料・構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の指なぞりは線が児童の指の大きさに合わせてあり、書き順も色を変えていて、折れ、曲がりなどをわかりやすく示している。 ○ 筆使いが、濃淡をつけた色つきで、穂先の通り道がわかりやすい。 ○ 新しい筆使いの学習では、運筆の細かな解説が少なく、簡潔に示されている <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1・2年生の巻末に水書用紙が添付されているが、B5より小さい。 ○ 2年生以上では巻末のページに、これまでに学習した「書写のかぎ」の一覧が載っている。3年生以上では、左側にインディックスをつけていたり、单元ごとに「書写のかぎ」をふり返る欄が設けられたりしている。 ○ 巻頭にQRコードがついており、動画等の補助資料につながるようにしている。 <p>△ 教科書のサイズがB5よりやや大きめである。</p>
学校図書	<p>＜書写にかかわる基礎的・基本的な技能について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1・2年生の教科書では、鉛筆の持ち方の流れを写真で大きく載せている。 ○ 「字を書く前の合い言葉（書写の合い言葉）」では、リズム感のある具体的な体の置き方がわかるような言葉を使っている。 <p>＜主体的な学びを支える資料・構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指なぞりはなく、鉛筆で直接書き込む方法を取っている。 ○ 筆使いが、濃淡をつけた色つきで、穂先の通り道がわかりやすい。 ○ 新しい筆使いの学習では、筆の画像と細かな解説がある。字形等の学習では細かな解説が少なく簡潔に示している。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとにQRコードがついており、動画等の補助資料につながるようにしている。 ○ 学習の進め方では、確かめて書こう→考えて書こう→生かして書こう、の流れをつくり、色分けをしている。また、漫画風のキャラクターが学習を深める助言をしている。 ○ 毛筆のお手本は、2文字以上になると原寸大になっている。また、全学年で、学習の最後に硬筆で振り返る場面が設定されている。 ○ 3年生以上では、「はがき・原稿用紙の書き方・手紙の書き方」が4年生以上だと「都道府県名」のワークが毎回付属していて、他教科との関連を図っている。 <p>△ 「水書きシート」が付属されていない。</p>
教育出版	<p>＜書写にかかわる基礎的・基本的な技能について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 字を書く姿勢は「こしぴん・あしぺた・ぐうひとつ」と簡単な合言葉になっている。足の位置は写真で肩幅から足幅へと写真と補助線で示している。 ○ 鉛筆の持ち方は、はしの持ち方と比較して示している。 ○ 鉛筆の持ち方にも鉛筆を持つまでの流れの写真とともに合言葉が書いてある。 <p>＜主体的な学びを支える資料・構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の指なぞりは線が児童の指の大きさに合わせてあり、書き順も色を変えていて、折れ、曲がりなどをわかりやすく示している。2年生でも引き続き指なぞりの学習を取り入れている。 ○ 筆使いが、濃淡をつけた色つきで、穂先の通り道がわかりやすい。 ○ 新しい筆使いの学習では、筆の画像と細かな解説がある。字形等の学習でも細かく解説している。

	<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3・4年生では毛筆では「筆圧」を学習するページがある。 ○ 裏表紙にQRコードが添付されていて、動画で確認することができる。 ○ 学年に応じて各教科や日常生活に生かせる活動について、書く活動が掲載されている。 △ 1年生にはB5より小さい水書用紙が巻末に付属されているが、2年生以上にはない。
光村図書	<p><書写にかかわる基礎的・基本的な技能について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい姿勢の維持のために、1・2年生の教科書に「書写体操」が掲載されている。字を書く姿勢では、ポイントとなる言葉を朱書きにし、合言葉をつくっている。 ○ 1年生では、鉛筆の持ち方について、鉛筆を持ったときの状態の詳しい説明や鉛筆で「よこのせん」「たてのせん」を書くときの手の動かし方の写真が掲載されている。また、3年生では、筆で書くときの腕の動かし方の写真が掲載されている。 ○ 3年生以上では、書くときのひじの位置やじくのかたむきなど、鉛筆と毛筆を比較する写真が掲載されている。 <p><主体的な学びを支える資料・構成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆使いが、濃淡をつけた色つきで、穂先の通り道がわかりやすい。 ○ 1年生の指なぞりは線が児童の指の大きさに合わせてあり、ポイントとなるところで色を変えていて、折れ、曲がりなどをわかりやすく示している。 ○ 新しい筆使いの学習では、筆の画像やイラストで示し、簡潔な解説がある。字形等の学習では細かな解説が少なく簡潔に示している。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとにQRコードが添付されていて、動画等の補助資料につなげている。 ○ 動きのあるねこなどのキャラクターが出てきて、書くポイントの説明を助けている。 ○ 3年生以上では、「たしかめようシール」で、始筆、送筆、終筆部分に貼りながら、筆使いのポイントを確認することで、学びが整理できるように工夫されている。 △ 巻末の「水書きシート」がB5より小さい。また、2年生以上では付属されていない。
日本文教	<p><書写にかかわる基礎的・基本的な技能について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書く姿勢について合言葉が考えられ、ポイントになることを掲載しており、「ひじをつかない」という表現が入っている。 ○ 2年生の筆記具の持ち方では、鉛筆とフェルトペンの持ち方を写真で掲載している。 ○ 3年生以上になると、様々な筆記具の持ち方について写真で比較して見られるようにしている。 <p><主体的な学びを支える資料・構成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の指なぞりは、書き順で色を変えていて、折れ、曲がりなどをわかりやすく示している。 ○ 筆使いが、濃淡をつけた色つきで、穂先の通り道がわかりやすい。さらに、新しい筆使いの学習では、細かな解説がある。字形等の学習では細かな解説が少なく簡潔に示している。 ○ 毛筆学習の準備の中に赤鉛筆が準備され、ためし書きと教科書の手本を比べて自分の課題を見つけ、書き込む活動が設定されている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1・2年生の巻末にB5大の水書き用紙が付属されている。 ○ 毛筆では、紙の再利用の仕方について掲載している。 ○ 5・6年生では、自分の文字と向き合う学習が設定されていて、自分の文字の課題を考える学習がある。 △ ホームページのURLがあり、そこから動画等の補助資料につながるようになっているが、QRコードはついていない。